

2025 第 24 号 <No.253> 産業医科大学 国際シンポジウム 2025 を開催（2025 年 12 月 18 日配信）

2025 年 11 月 14 日（金）、15 日（土）の 2 日間、“Inclusive Occupational Health Advancing Beyond Well-Being through Diversity from Epidemiology to Green Transformation”をテーマに、産業医科大学国際シンポジウム 2025 を開催しました。本シンポジウムは、産業医科大学開学 40 周年記念事業、北九州市、（公財）北九州観光コンベンション協会、（有）産業医大サービス、（一財）産栄会、（株）堀商店、ミツフジ（株）、Boston Medical Sciences（株）より多大なご支援をいただきました。

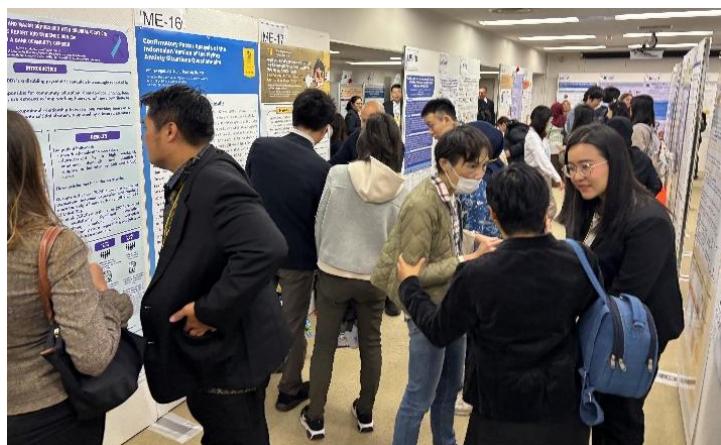
プログラムでは、米国ハーバード大学公衆衛生大学院のイチロー・カワチ教授による基調講演や国立シンガポール大学 David Koh 教授による特別教育講演に加え、5ヶ国（イタリア、インドネシア、タイ、台湾、日本）の研究者から、テーマに基づいた各国での現状やそれぞれの研究についてご講演いただきました。また、一般演題として 56 題のポスター発表があり、特に優秀な 3 題に対して優秀賞が授与されました。

2 日間の開催を通じて、10ヶ国から総勢 184 名（現地参加：161 名/国内 89 名、国外 72 名、オンライン参加：23 名）にご参加いただきました。参加者からは、国際シンポジウムの学術的意義の高さについて多くの賛同の声が寄せられ、盛会のうちに終えることができました。本学の国際的地位の向上に貢献する、有意義な学術会議となりました。

なお、来年度は“Designing sustainable work, well-being, and society – from individual well-being to sustainable societies”をテーマに、2026年11月13日（金）、14日（土）に開催を予定しています。



イチロー・カワチ教授の講演



ポスター発表



上田学長とポスター賞受賞者



ワークショップ（ポイポイバトラー）



第1日目（11月14日（金））集合写真